

<基本情報>

所在地：大分県宇佐市安心院町

<農場概要>

- 面積：有機JAS認証ほ場14.75ha（ハウス3.45ha、露地11.3ha）
- 従業員：約20名（代表含む社員3名、外国人材8名、パート8名（増減有））
- 栽培品目：ベビーリーフ、パクチー、リーフレタス、その他葉物野菜

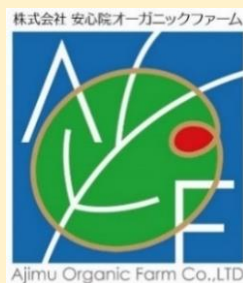


<有機農業に取り組むきっかけ>

- 東日本大震災の影響により、有機ベビーリーフが不足していたため、ベビーリーフを栽培している茨城県の有機農業法人が技術提供する形で福岡県の有機農産物販売会社との共同で当社を設立。
- 平成26年（2014年）に有機JAS認証を取得。

<販売について>

- 販売先の8割近くは、スーパー等小売店向け（大半は関東へ出荷。一部大分県内へ出荷）。2割程度は、仲卸へ販売（主に福岡県）。
- 令和2年当初は、コロナ禍により一時的に売上が落ち込んだが、その後、コロナ禍の巣ごもり需要により回復し、売上は順調に推移。
- 販売先のニーズに応じて商品構成の見直し（内容量を細分化）等を行ったことが売上増に貢献した。



<地域との交流について>

- 主な販売先のほか、地域の直売所でも販売。
- 市内のワイン祭り等に参加し地域とも交流。

【お問合せ先】TEL. 0978-58-3606

ホームページ：<https://ajimu-organic.com/>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
ベビーリーフは播種から収穫まで2週間程度（春～秋）と作期が短く、病害虫被害のリスクは少ない。パクチーは、作期が45日～60日程度（春～秋）のためアブラムシ等の虫の被害はある。
- **雑草対策**
ほ場周辺は、全て草刈機で除草。ハウス内は太陽熱処理や手刈りで雑草を除去する。露地の雑草は、耕耘作業及び草刈機等で除草する。
- **土づくり**
赤土（粘土質）のため、成熟した土壌となるには時間がかかる。市内の酒造メーカーから焼酎粕を譲り受け、おからや米ぬか、牛ふん、鶏ふんを混ぜた堆肥（植物性原料主体）を自社で製造し使用。

<苦労しているところ>

- 当初は、土壌が赤土で硬く、礫が多いため、耕耘作業が困難で、大きな石は手で拾いつつ作業を行った。

<今後の展開>

- 約100棟のハウスのうち令和元年竣工のハウスは土壌が成熟しておらず、平成26年に竣工したハウスに比べ収量が劣るため、生産量の安定化が引き続きの目標。
- 当社主体の有機農産物集出荷体制の構築及び施設整備を検討。

